平成22年度 決算説明書/事務事業評価シート

部局名産業経済部課室名農業振興課

文 質	款	項	目	決算書	ţ
」) 算	6	1	8	154	頁

	目	名	
中山間地域等	直接支	払事業費	

事務事業名称 中山間地域等直接支払事業

1. 概要

目的	農地の保全、多面的機能の確保、農業生産活動の継続、集落の活性化	対象	農業者
事業概要	〇中山間地域等直接支払推進事業・・・中山間地域等直接支払事業の推進事務費 〇中山間地域等直接支払交付金・・・農業生産活動を行う上において条件不利地である中山間地域等維持しながら中山間地域が保有する多面的機能等を確保するため支払交付金を交付する 【事業内訳】 ・集落協定数・・・175件(うち個別協定 3件) ・交付対象面積・・・・2、639ha ・交付額・・・441、348、594円		

臨/経	事業名	事業内容(主な	7級費等)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)		財源	内訳		評価
				(千円)	(千円)	国・県支出金	市債	その他	一般	птіш
経常	中山間地域等直接支払推 進事業	推進事務費	需用費	1,074	1,051	511			540	3
経常	中山間地域等直接支払交 付金	直接支払交付金	負担金補助 及び交付金	441,349	441,349	331,011			110,338	3
		計		442,423	442,400	331,522	0	0	110,878	

2. 指標設定

成	成 指標名 集落等協定数		治煙 夕 		目					指標の設定理由		
果	÷	111777	1	未行寸 励足效		標 山26						
指標	指 数値 175ヶ所		年度		120	○ 第3期対策が刊	対策が平成26年度に終了					
活	i	指標	•	集落等協定数		h					لہ	
動	b	1日1示	а	未冷守励足致		ь			С		d	
指標		数值	目標	175ヶ所	E	目標			目標		目標	

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H 2 0		H 2 1		H 2 2	
集落等協定数	ヶ所	179.0	ヶ所	179.0	ヶ所	175.0	ヶ所
未冷守励足奴	ומני	102.3	%	102.3	%	100.0	%

4. 課題と対応

中山間地域等は高齢化、担い手の不足等多様な問題を抱えており、 農業生産活動等はもとより集落機能の維持自体が困難となってきて いる

対応 (改善点等)

本制度を含め各種中山間地域対策の効果を一層高めるよう、地域の 実情に応じた他施策との有機的な連携を推進し、総合的な振興を図る

活動指標名		単位	H 2 0		H 2 1		H 2 2	
а	集落等協		179	ヶ所	179	ヶ所	175	ヶ所
а	定数		102.3	%	102.3	%	100.0	%
b								
С								
d								

5. 事業費・・・H20~H22 (決算額)、H23 (予算現額)

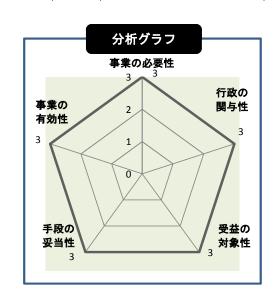
油	算額 (千円)	H20	H21	H22	H23
	升 识 (11]/	448,441	447,318	442,400	465,620
	うち経常経費	448,441	447,318	442,400	465,620
	国 費				
財	県 費	335,847	335,147	331,522	348,708
源	市債				
内訳	その他				
九	一般財源	112,594	112,171	110,878	116,912
	うち経常	112,594	112,171	110,878	116,912
事	業費に係る人件費	4,245	4,267	3,504	3,440

6. H24年度予算の方向性

方向性	
前年並	
理由	
交付金の対象農用地面積につ いて前年度並み	

7. 担当課による分析

	着眼点	分析	分析根拠
① 事業の 必要性	必要性の再確認	3	第1期及び第2期対策から事業の必要性は十分確認できる
② 行政の 関与性	責任領域の精査	3	国の責任において実施されている
③ 受益の 対象性	事業対象の確認	3	集落協定の合意に基づき事業が実施 されている
④ 手段の 妥当性	活動指標の分析	3	中山間地域の不利条件を市民が理 解し、集落協定に参加している
⑤ 事業の 有効性	成果指標の判断	3	農地の保全、多面的機能の確保が十 分図られている



8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

C. PIHPHIMA	KRAH M (KRAH M)
事業の方向性	評価内容
継続	課題に対応しながら中山間地域の振興を図ること